

## 月平均 500mb 天気図. 1988年 9月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

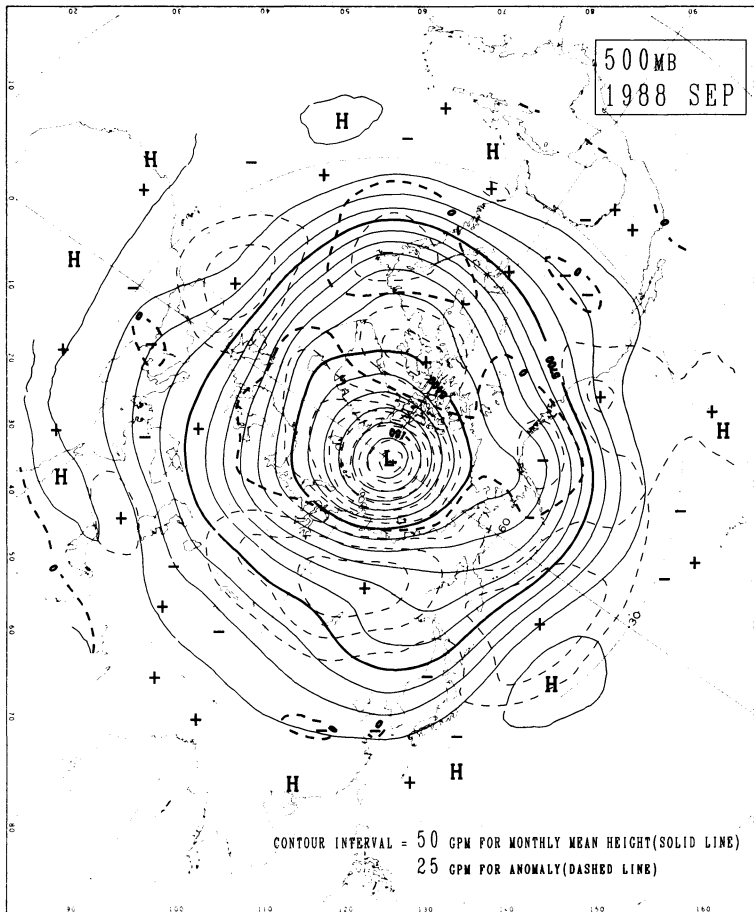


表1 昭和63年 9月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	15.0	-0.9	-0.6	51	100	3	カサブランカ	22.5	0.7	1.0	0	0	2
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	20.2	-1.3	-1.1	12	17	1	プレトリア	18.4	2.0	1.7	49	233	5
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	14.6	0.3	0.3	77	138	4
モスクワ	11.3	0.1	0.1	37	64	—	ニューオリンズ	26.5	1.1	0.7	149	116	3
オデッサ	16.1	-0.9	-0.6	56	193	5	セントルイス	22.5	1.4	0.8	51	73	3
ニューデリー	30.1	0.8	0.9	172	115	3	サンフランシスコ	17.3	-0.4	-0.3	1	20	3
カルカッタ	29.5	0.3	0.8	250	86	2	ニューヨーク	19.9	-0.5	-0.4	66	66	3
ボンベイ	27.7	0.3	0.8	—	—	—	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	27.6	0.3	0.6	110	30	1	リオデジャネイロ	22.1	0.6	0.5	57	108	4
チャンチュン	15.7	0.8	0.9	35	55	2	ロサリオ	—	—	—	—	—	—
ペキン	21.2	1.7	2.1	49	77	3	ホノルル	27.8	1.6	2.0	22	88	4
シャンハイ	23.2	-0.6	-0.5	170	116	3	タヒチ	25.5	1.2	2.4	4	4	1
バンコク	28.8	0.9	2.3	487	159	—	ダーウイン	27.9	0.2	0.3	49	288	5
マニラ	29.2	1.8	4.5	184	68	1	キャンベラ	10.9	1.6	1.8	63	147	4

## 9月の世界の天候

## ① 中国南部の多雨

中国南部から日本にかけて前線が停滞したため、揚子江流域の地帯では洪水が発生した。武漢で月降水量 163 mm (平年比 2.0 倍)。また日本においても東北南部から関東を中心に日照が平年に比べ少なかった。このため稲をはじめとする農作物への影響が出ている。また下旬の台風の影響で台湾から中国南部の沿岸部でかなりの多雨となった。福州で 374 mm (2.4 倍)、台北で 628 mm (3.3 倍) 等。

## ② インド北部の高温

インド北部、タイ、フィリピンにかけては気温が高かった。ニューデリーで 30.1°C (+0.8°C)。8月末から9月初めにかけてバングラディッシュでは国土の半分以上が浸水する洪水となった。9月にはいってからは川の上流にあたるインド東部では降水量は平年並だった。

## ③ ヨーロッパ北部の多雨

月平均 500 mb の天気図を見ると、極うずが極端に強く、北極付近は大きな負偏差域となっている。これに対して中緯度では正偏差のところが多くこれに対応して、

気温も高い所が多かった。このため、50~60°N の擾乱の活動度が北半球では活発であった。ヨーロッパでも月の初めに北西部にストームが襲い多雨となった。ノルウェーのベルゲンで 397 mm (174%) 等。乾燥の続いていた南部でもイタリアを中心に多雨となり、冬作物にとっては好適となった。

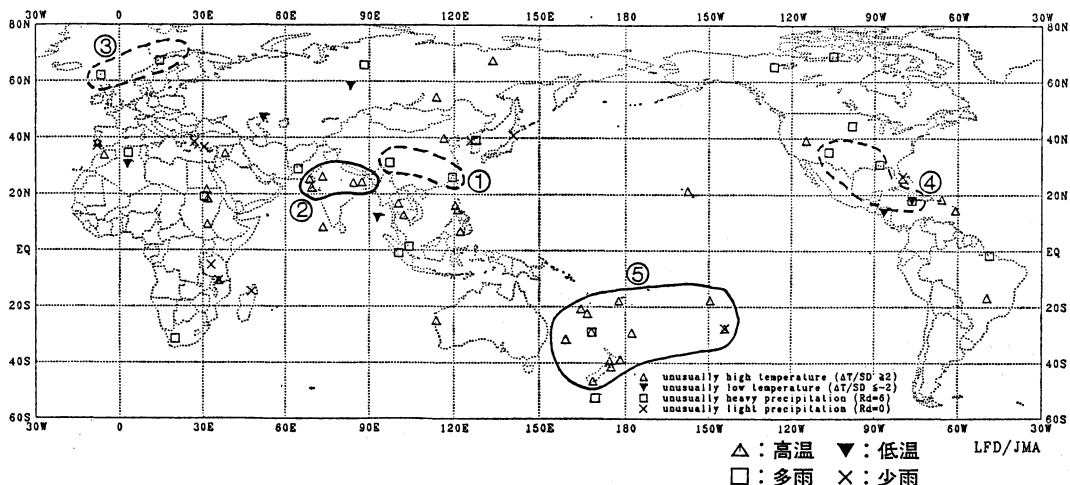
## ④ 中央アメリカ・アメリカ南部の多雨

アメリカ合衆国南部に近づいたハリケーン・フローレンスの影響でこの地域は多雨となった。また、12~13日にかけて発達したハリケーン・ギルバートがジャマイカを直撃し、カリブ海諸国に大きな被害をもたらした。このハリケーンは14日にはメキシコに上陸した。ジャマイカのキングストンでは 436 mm (5.1 倍)。

## ⑤ オセアニアの高温

ニュージーランドからメラネシア、ポリネシアにかけて気温が高かった。ニュージーランドのウェリントンで 11.6°C (+2.1°C)、ニューカレドニアのヌーメアで 22.0°C (+1.4°C) 等。

(気象庁長期予報課 高野 清治)



1988年9月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

## 1988年9月の気候表の説明

降水階級は、1931—1960年のデータに基づく五分位値。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。